

帯広市長 米 沢 則 寿 様

平成28年度
帯広市ばんえい競馬開催に関する
陳 情 書

平成28年1月30日

一般社団法人ばんえい競馬馬主協会
代表理事会長 赤 堀 幸 英

平成28年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情書

【陳情要旨】

競馬をはじめ公営競技において公正確保の倫理は、最も重要な守るべき理念です。

この理念を失えば同時に信用も低下し、事業が立ちいかなくなるのは想像に難くありません。

昨年暮れに発生した事案は、前代未聞の不祥事であり、ばんえい十勝になって以来最大の汚点となりました。ここ数年は収益も上がり、ようやく関係者の努力が一定の成果という形で実を結んできた矢先の出来事であり、誠に残念至極で腹立たしい限りです。

ばんえい競馬に限らず、不正や不祥事は社会的な信用を失わせるだけに止まらず、企業の存続自体を脅かすものであり、コンプライアンス態勢の整備は事業経営の重要課題の一つでもあります。

大切なのは、起こってしまった後の対策が重要です。その要因がどこにあり、どうすれば再発防止できるのかであります。

要因は様々考えられますが、その兆候としては、一人ひとりのモラルやルール違反などの認識の甘さが根底にあります。それが積み重なることで競馬サークル内における倫理観や道徳観が慣行的に低下してまいります。

その上、気の緩みもあり規律を高めようとする取り組みが不十分で怠慢に陥ってしまう、問題点も見ようとしないなどの事なかれ主義が蔓延し、粗悪な環境がつくられていくことが考えられます。

これらを防止するためには、関係者一人ひとりがこれまでの意識を変え、しっかりとした道徳観や倫理観を確立することはもちろんですが、決められたルールを守りモラル違反をなくすこと。その環境をつくることが重要で、それらを実現し、これを持続して取り組んでいくことに尽きるのだと思います。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という事態に陥ることのないよう、ここは関係者全員が同じ気持ちになり、法令を遵守するとともに自らを律して見過ごすことなく“信用失墜行為は絶対起こさない、起こさせない。”という強い決意の下、本当に全国のファンの皆様から信頼されるに値するばんえい競馬へと変わって行かなければなりません。

来年度は、ばんえい十勝としてはいよいよ節目の10年目を迎えますが、帯広市におかれましては、今後、ばんえい競馬の更なる発展の礎となるよう、関係者とともに手を携えて、しっかりとこの先の10年を見据えた体制を整えていただきたい。

【陳情事項】

1. 報償費支給基準

現状のレース数に見合った安定的なばんえい競走馬の資源数確保のため、報償費支給基準額については次のとおりとされたい。

(1) 普通競走の1着賞金は、最低10万円

(2) 出走手当は、年齢に関わらず1開催1頭につき、次の区分の額

1 出走目 45,000円

2 出走目 25,000円

2. ファンの信頼回復に向けた取組み

競馬の公正確保は競馬を支える根幹であり、全ての競馬関係者は、この公正確保に責任と義務を負っております。

この度の競馬法違反の疑いという事案は、ばんえい競馬ファンの信頼を裏切る行為でその責任は勝馬投票券の購入に関わった当事者にあるのは勿論ですが、これは当事者だけで済まされるものではありません。その影響たるや競馬会全体を震撼させる大変重大な問題です。

今回の事態はばんえい競馬の存続をも揺るがしかねないという事の重大性について、関係者は深刻な問題として厳粛に受け止める必要があります。

きゆう舎関係者のモラルや倫理観の低下、管理・監督責任、職場環境や職場風土の改善などの課題については、これまでも多方面からも指摘がある中で、その取り組みが必ずしも十分ではなかったと言わざるを得ません。

これらを真摯に受け止め深く反省した上で、二度とこのような失態を繰り返さないように、信頼回復と再発防止を最優先課題として関係者をあげて取り組んで行かなければなりません。

そのためには、関係者全てがこの事案を他人ごとではなく自らのこととして捉えるとともに、主体的に社会規範や道徳、規律など常日頃から機会あるごとにこれらのルールを自覚して行動する。また、気が付けばお互いに注意を喚起するなど指導を徹底するような環境を早急に整えることが必要です。

その一方で、関係者のみならず第三者も入り、不正事案の未然防止や反社会的勢力排除など競馬の信用失墜行為の根絶に向けた検討組織を設置するなど、新たな対策を講じていただきたい。

3. 薬物陽性馬の発生防止対策

競馬法違反の最たるものに禁止薬物陽性馬があります。何らかの要因により万が一にも禁止薬物が混入していて、それを競走馬が摂取してしまいレースに出走した場合には競馬法違反になるので、きゅう舎関係者は、その取り扱いには慎重を期さなければならない事は言うまでもありません。

競馬関係者は、これまでも禁止薬物事件を未然に防止するために様々な措置を施しておりますが、薬物陽性馬がなくなる気配は一向に感じられません。

地方競馬においては、昨年も名古屋競馬場、佐賀競馬場において出走馬からカフェインが検出されております。

一方、ばんえい競馬においては、2007年の12月に出走馬2頭からカフェインが検出されて以来薬物陽性馬は発生しておりません。

しかし、今回の不祥事案の件もありますので、これ以上信用を失墜するような行為があれば、即ちばんえい競馬にとっては再起不能な致命的な打撃を受けるものであります。何としても再発防止に最善を尽くすことに、なお、一層の努力を傾注していかねばなりません。関係者は常に気を引き締めるとともに、主催者においても「注意を怠らないという視点で」関係者への指導徹底や監視モニターの設置なども含め薬物陽性馬防止のための様々な対策を講じていただきたい。

4. 収支見通しの見直しとばんえい競馬の目指すべき方向

帯広市ばんえい競馬運営ビジョンにおける、平成26年度から平成28年度までの三カ年のばんえい競馬会計の収支見通しについては、その後の経営環境等の変化もあり収支計画と実績、見通しも大幅に乖離してきております。このことから、ばんえい競馬の中期的な経営基盤の改善と強化に向けた道筋をより確実なものにするため、今後の景気の動向や先行きを慎重に見極めながら想定される新たな取り組みや展開の成果などを踏まえ、現状のばんえい競馬運営ビジョンを更に実効性の高い計画として進化させるための見直しが必要であります。

平成28年度からの新しい三カ年の見通しを立てるなど、関係者が共通の認識を持つ指標となる計画を策定し、更なる経営安定化に向けた取り組みを推進していただきたい。

また、平成28年度は、帯広市一市によるばんえい競馬単独開催となり節目の10年目を迎えます。ばんえい十勝として紆余曲折を経ての10年間、帯広・十勝の観光資源としてようやく少しずつ認知されながら、地域経済にも大きく貢献してまいりました。

この先も決して平たんな道のりではありませんが、これからも「初心忘れるべからず。」関係者は10年前の気持ちをもう一度思い出しながら更に精進して、ファンの皆様の信頼に応えるため公正・公平な競馬を目指すとともに、これまで以上楽しんでいただくため、刷新した魅力的なばんえい競馬の展開など目指すべき方向を示していただきたい。

5. 診療所の安定的な運営に向けて

帯広競馬場内にあります競走馬の診療所につきましては、民間開業獣医師により昨年5月に「十勝ばんえいクリニック（代表：獣医師 荒井久夫）」として新たに開設されました。これに併せて、当協会は、貴市が実施する補助事業を活用し、当該診療所における業務をサポートする事業を行なっているところであります。

昨年末までは、開業した獣医師とそこに勤務する獣医師2名を加え3名体制で診療を行っておりましたが、本年1月に急遽1名が退職することになりました。診療体制が整い業務もようやく軌道に乗り始めた矢先の事であり、ふたたび、獣医師の確保に困難を極める事態に陥っております。

安定的な診療所の運営には、獣医師の確保が不可欠であり、優先的に解決していかなければなりません。その他にも財政的な問題や二次診療に関する様々な課題も山積しており、未だ脆弱な診療体制と言わざるを得ません。

いずれの課題も容易に短期間で解決できるものではなく一定の時間を要することが予想されますが、今後共貴市と一つ一つ課題の解決に向けて、より一層緊密な連携を図りながら事業の推進に取り組んでまいります。

つきましては、次年度以降の補助事業継続と当該診療所の中長期的な財務見通しを踏まえた健全な財政運営のため、一定の間財政面についても引き続き今年度同額程度の補助金を賜りますよう要請いたします。

回 答 書

1. 報償費支給基準
2. ファンの信頼回復に向けた取組み
3. 薬物陽性馬の発生防止対策
4. 収支見通しの見直しとばんえい競馬の目指すべき方向
5. 診療所の安定的な運営に向けて

回答

安定したばんえい競馬運営のためには、馬主の皆さまによる競走馬の確保は重要であり、報償費は一定の水準を維持すべきものと認識しています。

平成28年度予算では、報償費を本年度より増額し、賞金や出走手当のほか、各奨励金全体の底上げを予定しており、発売額等の状況を見ながら、さらに増額も検討していく考えです。

この度のきゅう舎関係者の競馬法違反の事案発生は、全国のばんえい競馬ファンや、日頃よりご支援ご協力をいただいている多くの皆さま方の信頼を裏切る行為であり、誠に遺憾です。

今後は、信頼回復と再発防止に向け、関係者への厳正な処分はもとより、一方的な指導強化のみではなく、きゅう舎関係者全体で不祥事案を防ぐという当事者意識を植え付けるという意識改革の視点から、事案の未然防止を重視する方針であり、主催者・調教師・騎手からなる新たな組織を設置し、禁止薬物陽性馬の発生も含めた信用失墜行為撲滅のため、さまざまな再発防止の対策を実施していく考えです。

帯広市ばんえい競馬運営ビジョンでは、平成26年度から3カ年の収支見通しを想定していますが、悪天候や事故などによる競馬開催のリスクや、本場・直営場外発売所の発売額が落ちてきているほか、電話・インターネット投票発売額が大きく伸び、全体の3分の2を占めていることから、インターネット投票委託会社やスポーツ新聞各社との連携による積極的な販売戦略を展開しており、発売額の増に向けた経費も大きく膨らんできている状況です。

運営ビジョンの大前提となるものは収支均衡以上の運営であり、常に収支状況を把握し、引き続き、収入の確保に努めるとともに、経費の見直しにも取り組み、安定した経営を進めていきます。

競走馬の診療所の安定的な運営は、主催者としても重要な課題だと認識しており、貴協会と一致協力して、今後とも継続して安定的な診療運営の支援を図っていきます。

(担当：ばんえい振興室 電話 34-0825)